

きみ かげ ほし 朝と き
君の影 星のように 朝に溶けて消えていく

い さき な おも あふ
行き先を失くしたまま 想いは溢れてくる

つよ よわ こころ む あ
強さにも弱さにも この心は向き合えた

きみ あ す き こわ
君とならどんな明日が 来ても怖くないのに

ふたりある とき しん
二人歩いた時を 信じていてほしい

しんじつ うそ よる あ あさ く
真実も嘘もなく 夜が明けて朝が来る

ほしぞら あさ と きみ かがや
星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

さよならをしらないで ゆめみ ひとり
さよならを知らないで 夢見たのは 一人きり

ころ きみ め なに うつ
あの頃の 君の目には 何が映っていたの？

ふたり とき だれ け
二人つないだ時を 誰も消せはしない

こどく いた きみ かん
孤独とか痛みとか どんな君も感じたい

いちど み あ ねが かな
もう一度 見つめ合えれば 願いはきっと叶う

よ あ まえ かぜ ほお なが
夜明け前 まどろみに 風が頬を 流れていく

きみ こえ きみ かお すべ つつ み
君の声 君の香りが 全てを包んで満ちていく

おも で は きみ そら ま あ
思い出を羽ばたかせ 君の空へ舞い上がる

ほしぞら あさ と きみ かがや
星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

あい ふたり あ
愛してる ただそれだけで 二人はいつかまた会える